

反省職員会議に寄せて

今時点の来年度構想

2018.12.21

No.44

校長 渡邊 幸二

<反省職員会議の意義>

何のための「反省」か…より良い教育活動の創造・実践へ

感想、方向性の定まらない意見、枝葉末節の論議

⇒次年度(あるいは今後の)実践のための**大枠**の合意

それをベースに徹底して実践を進めること

(1) 学校経営方針

浜田小学校の職員として大事にすること

教員としてのミッションでもある

⇒「できません」「やっていません」では済まされない

2019年度は何をやるのか、何をやらないのか。
(優先順位) (劣後順位)

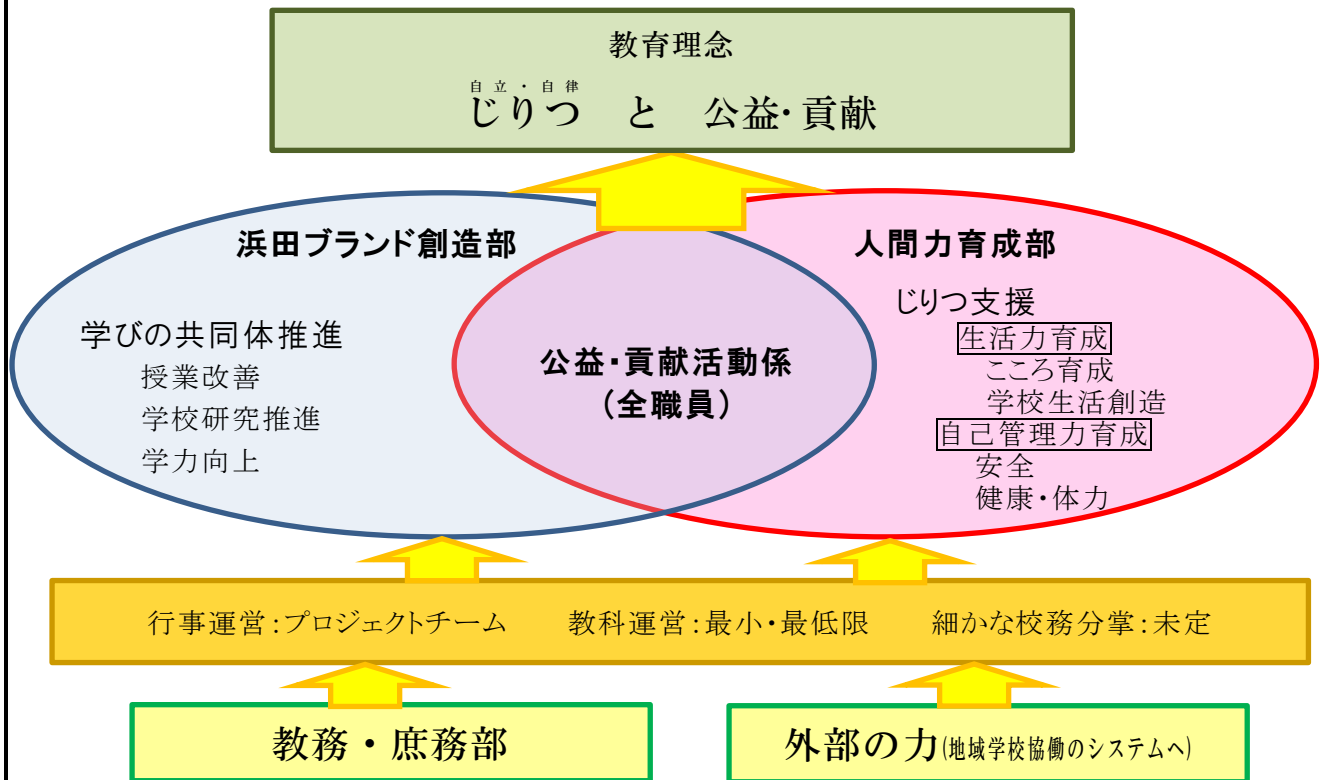
<やること>

- 協同的学びに向けた授業改善
- 公益・貢献活動の一層の推進
- じりつ(自立・自律)のための組織的取り組み強化

<やらないこと>

- ◆ これまでやってきたからという前例で行っているもの
- ◆ 同じやるにしても、価値の確認、リメイクして価値付けを行う

(2) 来年度の組織編制の大枠(職員会議を受けて)



(3) 北校舎システムの廃止 ⇒ インクルーシブ教育へ

高学年棟の一つの教室を活用

北校舎教室は通級等で活用予定

(4) 来年度のカリキュラムの大枠

教務主任から提案

あなたが浜田小学校のブランドをつくる!

～自分たちの学校は自分たちでつくる～

～浜田ブランド～

公益・貢献

みんなと共に、みんなのために